

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表(令和6年12月)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				事業所の理念を掲げている。	・様々な理由があって入居されている方々に、雰囲気の良い空間を提供したいと願う姿勢を感じます。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				毎朝唱和し、達成に向け努力している。	・常にプロ意識をもって臨む事大切だと思います
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				社内外の研修に取り組み、自己啓発をおこなえる機会を設けている。毎月、介護研修としてジョブドレーアカデミーを活用し、職員の介護技術向上に向けて取り組んでいる。	・インシデントが生じた際も原因を分析し、再発予防に取り組まれていてよいと思います。 ・切磋琢磨し合って向上できると良いと思います。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				業務の平準化を目指した人員編成をおこない、それぞれの特徴を生かした職員が配属されている。	・相互補完できると良いと思います。
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				毎朝・毎夕の申し送りにて、利用者の変化を伝え共有している。	・小さな変化も見落とさないよう、緻密さを維持する大変さもあるかと思っています。
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				限られた職員で最大限の体制が取れるように勤務調整を行っている。	・7.5時間勤務等、働き方改革にも取り組まれていて良いと思います。 ・どこの施設も人手不足で大変な中、よく努力されていると思います。

介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				連携推進会議の開催時にいただいたご意見、要望、助言を反映している。	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				個人情報の管理を徹底した上で、変化に応じて共有出来るようにファイルの更新を行っている。	・個人情報の配慮との兼ね合いは、難しい面もあると思いますが上手にされていると思います。
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	○				防災訓練を年2回実施。自然災害における連絡手段は確率しており、自然災害BCPを活用している。	・より良いサービスの提供にもつながる職員さんの安全をも、最大限考えて頂きたいと思います。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報に関わる書類・情報は個別ファイルに一括管理し、ケア内容はスマホ内で管理している。いずれも職員 施設長の管理下にある。	・ケア内容をいつでも共有できるのは安心です。
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				定期的な、状況の変化に応じて改訂を行っている。	・常に利用者寄り添ったものであってほしいと思います。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				アセスメント作成は介護・看護共有で改訂を検討し、実施している。	・それぞれの都合が利用者の不都合に繋がらないように実施してほしいです。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				心身の健康維持を目的とした計画を作成。	・機能の維持だけでなく回復にまでつながるような計画をお願いしたい。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				日常生活のヒヤリハットを注視し、今後課題になる可能性をイメージし組み立てる訓練を職員全体で行っている。ヒヤリハットに関して再発防止策を検討します。	・異常の早期発見に努め適切な医療を受けられるように注意しながら、自立にもつながるような計画をされて欲しいです。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								

計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○			オペレーターによる随時対応で、状況変化や希望に沿ったサービスを行っている。	・出来る限り努力してほしいです。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○			担当者による継続的、定期的なモニタリングの実施を計画に反映させている。	・連絡を密に取り合っで見落としが無いように調整できると良いと思います。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○			看護職による医療アドバイス等専門性を生かし、緊急対応等に反映させている。	・看護師の常駐は難しいですが心強いと思います。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○			看護職の定期的な訪問の結果を申し送りや口頭で指導、助言が実施されている。	・専門的な医療知識に基づいた介護が理想ですから安心です。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○			契約前からケアマネを通してこのサービスの特性を理解して頂き、契約時にも説明をおこなっている。	・契約前に利用者様と家族に十分理解納得していただき、安心して入居できるように特に注意してほしいです。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者、家族等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○			目標は、長期・短期に分け、ご本人ご家族に説明し、ご理解頂いた上で署名頂いている。	・後のトラブル回避にもつながると思います。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○			定期的に情報は提供し、変化があった場合は、都度報告している。	・入居者の家族にとって一番願っている事です。有難いと思います。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			担当者会議で利用者の状況に合わせたサービスを行い、変化があれば都度報告し、対応している。	・ケアマネの日々の関りがより良いサービスにつながると思います。

	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている					目標達成への提案を行っている。インフォーマルサービスとしてご家族様より地域のスーパーへ発注、配達依頼をおこなっていただき、活用している。	・ネットスーパーの利用等も検討されており、良いと思います。 ・様々なサービスが利用できると思います。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている					担当者会議では多職種と連携が取れるよう情報提供をおこなっている。	・より広い助言が得られるように努めて頂きたいと思えます。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)					入居、退去・入院、退院に関して多職種と連携し、サービスが滞ることの無いよう情報の共有、検討をおこなっている。	・サービスの行き違いを防ぎ、スムーズに連携できるように日々備えてほしいです。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)						
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている					推進会議の内容についての情報発信は、ブログにアップしておりどなたでも閲覧できるようにしている。	・開かれた施設を目指し、地域から信頼される、地域から求められる施設でいてほしいです。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている					「介護何でも相談」として地域の回覧に載せて頂いた。	
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している					正しい理解が出来るよう、研修会等に積極的に参加している。	・行政に対する願いも常に持っていて欲しいです。

サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている				○	今後の課題である。	・人員確保も必要であるとの事あるが、施設外の方へもケア提供を検討されており、今後、進めて頂けると、地域住民の利益にもなり、良いと思います。 ・良い評価が得られ期待されるようになると思います。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)						
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				服薬管理、口腔ケア、レクリエーション等定期的なサービスで心身の安定が図られている。	・年中行事や各季節の楽しそうなイベントが計画されていて感謝です。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				ご家族や利用者からは安否確認により大事故に至らなかったりなど安心した生活が送れている。	・家族からの信頼が得られていることが何よりだと思えます。